

焼きたてパン新聞 “ほっかほか”

MOBAC SHOW 2021 in インテックス大阪

今月のメニュー

1. モバック
2. PANメンバー例会
3. 退職者挨拶



2021年度MOBAC SHOW(第27回国際製パン製菓関連産業展)がインテックス大阪にて3/9~3/12の4日間開催され、延べ23,488名の来場者がありました。コロナ禍において開催されるのか?という難しい状況の中で、バーコードで入退場の管理をしたり感染対策を万全にされていた結果、多くの方に来て頂けたのだと思います。関係者の皆様のご苦勞は大変だったと思います。セミナーを担当させて頂いた立場として、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。今年度の「進化する技術で!『美味しさ』の実現」をテーマに出展された企業は171社。どのブースもワクワクする提案で、とても勉強になりました。またクーブ・デュ・モンド日本代表選考会やモバックセミナーなども盛況でした。次の開催は2023年2月の幕張メッセです。



新しい機械の提案や新素材による製パンのデモ。 新人津田も提案に興味津々。 シェフとの情報交換もできました。

MOBAC SHOW展示会場内では、2022年クーブ・デュ・モンド(ベーカリー・ワールドカップ)の日本代表選考会が開催されました。限られた時間の中で、これほどの精度のパンが出来上がるなんて本当に感動です。



ドンク合田知弘シェフ・アンデルセン堀田圭介シェフ・神戸屋レストラン梅谷誠吾シェフ、代表おめでとうございます。本大会も頑張って下さい。



今回のMOBAC SHOWでは、セミナー講師という形で参加させて頂きました(過去にはブース展示もさせて頂きました)。テーマは「コロナ禍における気をつけなければいけない経営指標」。少し固いテーマだったでしょうか(汗)それでも、たくさんの方にお越しいただきました。ありがとうございました。ウイズコロナのこんな時だからこそ、何にお金を使うのか、その効果をどのように測定するのか、コックピットという経営指標をしっかりと見ながら経営を行って頂きたいと願います。 河原 治

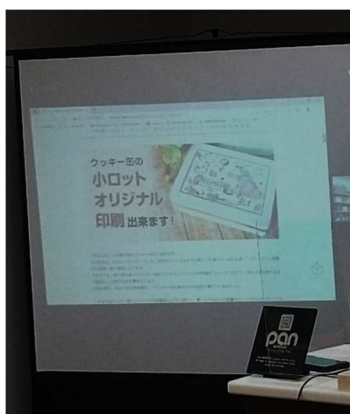


社員もいい経験になりました

第 118 回 PAN メンバースオンライン例会が開催されました。河原事務所は今回も事務局として準備をさせて頂き、オンラインで開催するのは 2 回目ということもあり、会員様も、協賛会員様も、事務局も、少し慣れての開催となり、49 名のご参加となりました。今回講師にお越しいただいたのは、株式会社八天堂代表取締役 森光孝雅様です。【人生、今日がはじまり「良い品良い人 良い会社づくり」への挑戦】をテーマに、八天堂誕生から、今後のビジョンについて、熱くお話頂きました。従業員と上手くいかなかったお話や、もともとハード系で修行をしていたけど、柔らかいクリームパン 1 つに絞った誕生秘話なども惜しげもなくお話頂き、協賛会員様からは、ぜひ社内で共有したいとお声を頂きました。コロナが落ち着いたら広島県にある八天堂ビレッジへも是非行ってみたいです！続いては、コロナ禍におけるパン屋さんや企業との情報交換を行いました。事前にアンケートでお答えいただき、コロナ禍で困った事や、他のお店がどう対応しているか知りたい事をディスカッション形式で学びました。弊所所長の河原が司会をさせて頂き、パン屋さんでコロナ感染者が発覚した実例などもお話致しました。実際にお店の従業員でコロナ感染者となった場合、どこまで公表するのか、公表する義務はあるのか、その時のお客様の反応などを聞いて、今後万が一、自分のお店で出た場合はどうするのかの参考になったかと思えます。また、マネジメント研究テーマの消費税の総額表示についても色々なお店のプライスの写真を表示しながらお話させて頂きました。協賛会員様の PR では今回、奥本製粉株式会社様の「五穀豊穰い〜湯だね！ブラン」、鳥越製粉株式会社様の「TUD07 アイゼラ・カラマンデル」、株式会社田中食品興業所様の「ナチュラルーナ ACE シートシリーズ」、株式会社橋本パッケ様の「50 個から作れる小ロット貼り箱・クッキー缶のオリジナル印刷」についてご紹介頂きました。次回は 7 月に行われる総会の準備を進めています。今度こそ、皆様とお会いして勉強できることを願っています。（津田 美幸）



協賛会員様 PR



参加者の様子(一部)



ディスカッションの様子



河原賢太郎よりご挨拶

3月末日をもちまして、河原税理士事務所を退職いたしました。一度他の税理士事務所を経験したいと思い、このような決断となりました。直接ご挨拶できなかった方、急なご報告になってしまい申し訳ございません。河原事務所では仕事はもちろんのこと、たくさんの楽しい思い出があります。BBQ、淡路島合宿、リレーマラソン、そして何より美味しいパンやお菓子にたくさん出会えたこと。美味しいものには人を笑顔にする力があります。そんな人を笑顔にすることができるお客さまを尊敬し、サポートしたい、力になりたいと強く思うようになりました。河原事務所のスタッフやお客さまがとても明るくて、暖かくて、優しい方ばかりで、寂しい思いもありますが、河原事務所での約3年間の経験を次のステージでも活かし、更にレベルアップした状態で、また河原事務所に戻ります。そして改めて皆さまのサポートができればと思っております。修行中にも、元気が欲しかったときには、パン屋さんへ行ってパンを食べたいと思います。（河原 賢太郎）